

新小倉病院

2013
No.32

KAKEHASHI



- P1 巻頭言
- P2 CGM持続血糖測定モニターで、よりの確な糖尿病治療を（糖尿病センター）
- P3 肺がんに対する手術：胸腔鏡手術について（呼吸器センター外科）
- P4 看護のKIZUNA No.4 ～褥瘡対策チーム～
- P6 ホームドクター
- P7 最先端 骨密度検査のおすすめ / 看護ミニ講座 / アクセス・マップ

巻頭言



病院長
渋谷 恒文

平成25年の新春を迎えご挨拶申し上げます。

大震災の影響もあり不安を抱えたままの新年ですが、皆様が健やかに過ごしていただけるよう新小倉病院もお手伝いをさせていただきます。

さて、当院は創立以来長い間小倉北区で地域医療に努めて参りました。北九州市では人口減少が続く一方で、高齢者数の増加が続き、日本の大都会の高齢化モデル都市です。病院は患者さんにとって最良で安全、安心の医療を提供する義務があり、一方、患者さんは納得できる医療を受ける権利があります。そのためには患者さんの情報を正確に提供していただき、手を携えて治療を進めて行くことが出来ればと考えております。

さて、昨年10月に大学の支援のもとリウマチ内科を新設致しました。リウマチ専門医が関節リウマチ、膠原病のハイレベル診療を行っております。リウマチは治癒する時代が目の前ですのでリウマチや膠原病の方はご相談下さい。

当院は、がんの高度な内視鏡手術から生活習慣病、睡眠時無呼吸症候群、肝炎・肝硬変・肝臓がんも治療しており、骨粗鬆症や肺炎など年齢と共に増加する病気の診療も行っております。お困りの時は主治医や他の医療スタッフにご相談下さい。

今年も何卒宜しくお願い致します。



事務部長
黒澤 渉

新年を迎え皆さまのご健勝とご多幸をお慶び申し上げます。

昨年も多数の方から励ましや感謝のお言葉を、また一部の方々からは、お叱りや苦言をいただきました。これらのご意見に対してできるかぎりの対処を行ってまいりました。数々のご意見は、当院の理念である「患者さんにとっての安全と暖かみのある最良の医療を行うことを心がけ、地域で最も信頼される病院を目指します」のご支援と受け止めてまいります。

さて、患者さんにより良いサービスを提供して、さらに信頼される病院づくりに資するためには、経営基盤の強化を図り財政的に安定することがまずは第一と考えております。それを実現するためには、良質な医療従事者の確保・育成が不可欠であり、医療機器・設備の充実が必要となります。このことは、次期中期計画の重点施策に定め、実現を目指してまいります。

これからも地域の皆さま・関係機関の皆さまに貢献できますよう、職員一同努力してまいりますので、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



持続血糖測定モニターで、よりの確な糖尿病治療を



内科部長
糖尿病内科部長
藤本 良士

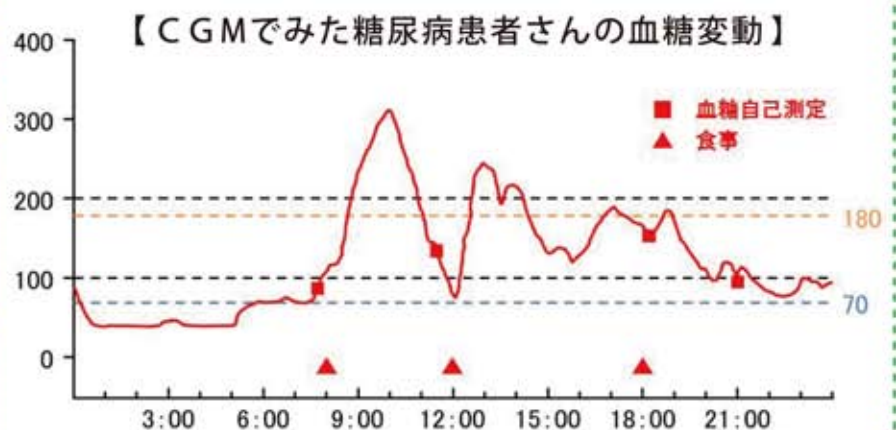
糖尿病治療の最終目標は合併症の発症・増悪を防ぐことであり、そのためには血糖値をできるだけ正常に近づける必要があります。私たちは患者さんの血糖の状態を確認するために検査をするわけですが、血糖値は食べたものや運動などの生活習慣で常に変動しています。つまり病院で検査したときの血糖が悪くなかったからといって普段の血糖値がよいとは限りません。そこで、2～3ヶ月の平均の血糖値を示すHbA1cを測定したり、インスリン使用者では血糖自己測定を行っていますが、それでも1日の血糖変動の実態を十分にとらえられないことがあります。

そこで、近年注目されているのがCGM-持続血糖測定モニターです。これはお腹などに専用の小さなセンサーを装着し、連続的に皮下のグル

コース（ブドウ糖）濃度を記録する新しい検査方法です。今まで一般に用いられてきた1日に数回の血糖自己測定器による測定に比べ、5分ごとの自動測定により測定回数が1日288回と格段に多いことが特徴で、普通に生活しているときの血糖の変動を見ることができます。（センサーをつけたまま入浴も可能です。）また、一度センサーを装着すれば測定時の痛みもありません。アメリカで開発され、日本では2～3年前から大学病院を中心に使用されていましたが、昨年4月により小型になったものが発売され、糖尿病専門医が勤務する一般病院でも使用が始まっています。



当院でも3泊4日の短期入院でこのCGMを使用した検査入院を行っています。CGMを施行して驚いたのは予想以上に血糖の変動には個人差があることです。血糖値が高いところはもちろん、予想外のところで血糖が下がっていることもあり、それぞれに合わせた指導や投薬の変更を行うことでそれまで以上に良好な血糖コントロールを得ることが出来ました。CGMはその人の血糖変動の特徴に合わせた治療の選択に非常に有用です。興味のある方は主治医にご相談ください。また、外来糖尿病教室も毎月第3水曜日に行なっております（無料）。糖尿病を理解して上手に付き合っていきましょう。



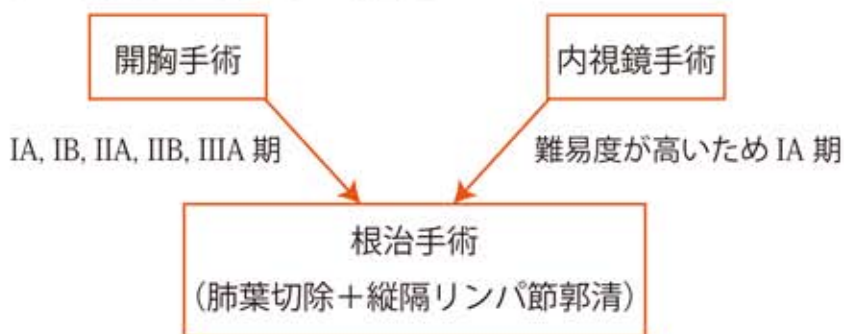
西村 理明 CGM-持続血糖モニターが切り開く世界-改訂版 より

肺がんに対する手術：胸腔鏡手術について

呼吸器センター外科



(図1) 一般的な手術の流れ (他院)



※当院では I A ~ III A 期まで内視鏡手術で行なっています。

日本における死因の第1位は、「がん」であり、部位別がん死亡率の第1位は、「肺がん」です。

肺がんに対する治療、特に手術方法は一般的に開胸手術と胸腔鏡手術の二つの方法があります。(図1)

多くの施設では開胸手術を選択していますが、当院では進行肺がんを含め約99%を胸腔鏡手術で行っています。(図2)

開胸手術と胸腔鏡手術では手術創が大きく違います。(図3)

胸腔鏡手術の特徴は以下のように患者さんにとって良い事ばかりです。

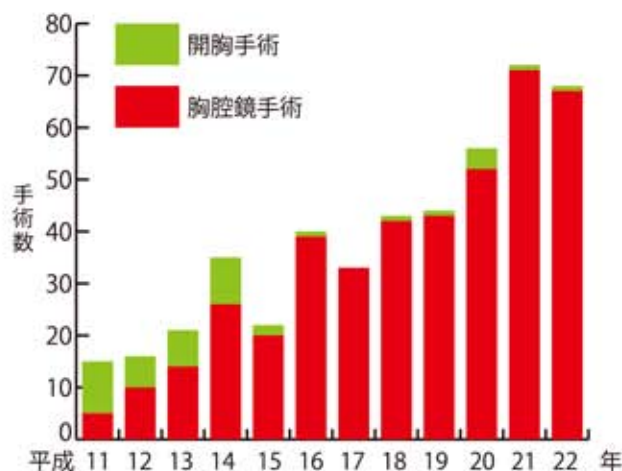
- ① 術後の創痛が軽い
- ② 術後在院日数が短い
- ③ 社会復帰が早くなる

当院が得意とする胸腔鏡手術の術後5年生存率は開胸手術を選択する他施設と比較しても遜色ありません。

胸腔鏡手術は肺がんを根治する事が可能であり、なおかつ社会復帰も早くできる事が可能となります。

肺がんが疑われましたら、当科での診療治療をご選択ください。

(図2) 肺がん手術数の術式別年次推移



1999.4~2010.12

手術総数：1169 肺癌手術数：449

平成14年4月以降：肺がん内視鏡手術が保険収載

胸腔鏡手術の割合：97%

最近5年間の胸腔鏡手術の割合：99%

(図3) 創の違い！



開胸手術：約20cm



胸腔鏡手術：約1~4cm

看護の KIZUNA

相手の思いに寄り添い
オーダーメイドの
看護を実践する

No.4

今回の看護のKIZUNAは、当院の褥瘡対策チームの活動を紹介します。

「褥瘡（じょくそう）」とは長期間ベッドに寝ている患者さんに多くみられる、いわゆる“床ずれ”と呼ばれるものです。痛みなどの知覚の低下した場合に発生しやすくなり、糖尿病や脳梗塞などの基礎疾患が関与していることが多々あります。そこで、今回は、そのような患者さんを数多く看護している北2階（糖尿病内科・脳外科・亜急性）病棟の看護場面とともに紹介させていただきます。

超高齢社会を迎え、「床ずれ」は確実に増加しています。



皮膚科医師
褥瘡対策委員長

小林 真二

床ずれの原因は長時間の圧迫であり、圧が加わらずに発生する床ずれはありません。長期臥床されている患者さんには長時間の圧迫を避けるために2時間毎、あるいはもっと短い間隔での定期的な体位交換が必要です。また、床ずれが発生・増悪しやすい因子として、栄養障害や皮膚トラブルが挙げられ、患者さんそれぞれの栄養状態の確認と的確なスキンケアが必要となります。

このように、床ずれは、患者さん自身の状態だけでなく、患者さんが受けている看護や介護の質などの影響を受けやすく、必ずしも創局所の治療だけで改善するとは限りません。その点、理念のごとく、患者さんに寄り添って看護、介護をしてくれる当院の看護チームは、重症の床ずれも完治に導いてくれるなど、とても頼もしい仲間です。

重症の床ずれ患者さんのケア



北2階病棟 師長

田中 初美

年齢（よわい）を重ねることで、歩行はもちろんトイレに行くのも、お風呂に入るのも一人では出来なくなり、ついには寝込んでしまって食事もできず、重症の床ずれができたという患者さんによく出会います。

そのような患者さんが入院して来られたら、私たち看護師は、まず、床ずれをできるだけ早く直すにはどうしたら良いか話し合います。そして、皮膚科医や皮膚排泄ケア認定看護師による褥瘡対策チームに診察を依頼し、さらに栄養サポートチームに栄養の改善方法を相談し、専門的指導を受けてベットサイドケアに繋がります。

治癒までにはかなりの時間を要します。数ヶ月に渡って、時間毎の体位交換、創部の処置、栄養面の観察を継続しながら、一方では、患者さんの行動範囲を少しずつ広げていきます。こうして、入院時には床ずれの化膿により熱が出ていたり、潰瘍がひどくて座ることもできなかった患者さんが、車椅子で食事ができるようになる光景を幾度となく見てきました。患者さんやご家族から喜んでいただけることで看護の「やりがい」を感じると同時に、スタッフの地道な努力の成果を誇らしく思います。

ケアと平行して、患者さんの退院後の生活を考え、退院調整ナースの力を借りながら、可能な限り患者さんの生活の質を整えることをモットーにしています。

褥瘡対策チームの活動



南3階病棟 師長
皮膚・排泄ケア認定看護師
小茂田 智子

2011年に認定看護師の資格を取得し、病棟師長との兼務で院内の褥瘡管理を任されています。入院患者さんの褥瘡の治療を皮膚科医と共に行ったり、褥瘡発生予防のための対策を担当スタッフと共に考えたり、また、職員に向けて褥瘡に対する教育、指導等を行っています。

高齢の患者さんが多い当院では、小林委員長を中心とした看護師、臨床検査技師、管理栄養士、事務員からなる褥瘡対策チームのワーキンググループとして、各病棟の褥瘡リンクナースが精力的に活躍してくれます。

北2階病棟では、昨年、入院時には骨まで達していた床ずれが、半年できれいに治癒した事例が2例ありました。患者さんの回復は、病棟スタッフと力を合わせて、根気よく、地道に適切なケアを行ってきた証として、褥瘡対策チームにとっても大きな励みになっています。

北2階病棟スタッフ



褥瘡対策チーム



床ずれ予防の スキンケア

- ☆ 入浴しましょう
 - ・皮膚を清潔に保ち、血行を促進します
- ☆ 皮膚を正しく洗いましょう
 - ・洗剤をよく泡立て、泡で包むようにやさしく洗いましょう
 - ・洗剤が残らないよう十分に洗い流しましょう
 - ・水分をよくふき取りふやけを予防しましょう
- ☆ 乾燥から皮膚を守りましょう
 - ・皮膚が乾燥している場合は保湿剤を塗りましょう

～ 褥瘡対策チームの活動 ～



■ 褥瘡回診 1回/週

小林医師を中心に看護師3名、栄養士1名で褥瘡のある患者さんを回診して治療法を検討します。

■ スキントラブルに関する コンサルテーション

褥瘡以外の皮膚管理についても、医師、看護師が相談に応じます。(ストーマケアなど)

■ マットレスの整備

褥瘡管理には寝具選びが大切です。患者さんの体型や創の状態に適したマットレスをご提示します。

■ 勉強会開催

看護師を対象に褥瘡の予防方法や観察の仕方を定期的にトレーニングします。

■ 創傷被覆剤の選択

様々な被覆剤の中から患者さんの皮膚や創の状態に適した材料をご提示します。

■ 栄養サポートチームと連携

褥瘡には栄養管理がかかせません。チーム間の連携はとても重要です。



次回の“看護のKIZUNA”は

NST(栄養サポートチーム)を紹介いたします。

ホーム ドクター

当院でご紹介する先生方は、当院の開放型病院制度（医院・クリニックの医師が当院において共同で診療ができる）の登録医になって頂いている先生方です。

地域の医療を担っている先生方と協力して、患者さんのお役に立てるよう日々努力いたしております。

やすなが整形外科



院長：安永 英樹



副院長：安永 悦子

ひとこと

院長をはじめ元気いっぱいの若いスタッフで患者様との信頼関係を築けるように日々努めています。

また、安心・安全・安らぎのある（やっさん）をテーマに快適な医療を提供できるように心掛けています。

スポーツを愛する患者様への診療とリハビリテーション、痛みにお困りの患者様の治療にも力を入れております。

新小倉病院さんには、日頃より早急な依頼などに心良く丁寧に対処していただき、大変有難く思っております。今後ともよろしくお願い致します。



診療科 整形外科・リハビリテーション科・麻酔科

住所 北九州市小倉北区清水 3-6-16

TEL 093-562-8011 FAX 093-562-8012

HP <http://yasunaga-seikeigeka.com>

柏木内科医院



院長：柏木 陽一郎

ひとこと

柏木内科医院は、北九州市小倉北区片野で40年にわたって地域医療に携ってまいりました。平成20年9月より柏木陽一郎が院長に就任し、関節リウマチ、膠原病や胃腸の病気の専門的医療と、高血圧、高脂血症、糖尿病、高尿酸血症など内科全般の病気のかかりつけ医として、健康管理を行っています。

<検査>

- ・エコー検査（腹部 心臓 頸動脈等）
- ・胃カメラ
- ・大腸内視鏡検査
※胃カメラは痛みや吐き気が少ない
経鼻式で行っています



診療科 内科・消化器内科・リウマチ科

住所 北九州市小倉北区片野 2-21-10

TEL 093-921-7943 FAX 093-921-7888

FAX <http://www.kashiwagi-naika.com>

～ 骨粗しょう症の早期発見に ～

最先端 骨密度検査のおすすめ

あなたの骨は大丈夫??

骨に「す」が入り、腰痛や骨折の原因となる病気「骨粗しょう症」。その診断には、正確な骨密度測定による早期発見がとても大切です。

当院では、世界でもっとも信頼されている米国ホロジック社の最新の骨密度測定装置 Discovery ディスカバリー により、今までとは比較にならないほど正確でスピーディー、かつ安全に骨粗しょう症の診断を行うことができます。

ご来院の際には骨密度検査を受診されることをおすすめします。

※ご希望の方は主治医またはスタッフまでお声かけください。



■ 骨密度測定装置の特徴

極めて少ないX線を利用しているため、女性の方でも

安心です。

着衣のまま仰向けにベッドに横になるだけで、

痛みもなく

簡単に測定できます。

とても**スピーディー**

に検査できます。
(測定する部位により異なります)

検査データは保存されますので、定期的な検査で、

正確な診断

が行えます。

認定看護師による 患者さん向けの

生活に役立つ「ミニ講座」を開催しています。是非お立ち寄り下さい。

日時：毎月 第2・4水曜日

11:30～12:00(30分)

場所：健診センター1階 待合室

※場所は変更になることがあります。

☆ミニ講座の日程が

毎月 第2・4水曜日に変更となりました。

☆毎月第3水曜日は

外来糖尿病教室が始まりました。

1月

9日 ノロウィルス感染予防

23日 肺気腫ってなに?

2月

13日 病気と家族

27日 スキンケア

※日程・テーマは変更になることがあります。



MAP

アクセス



(バスご利用の場合)

- [1番] 砂津～黒崎間運行 金田2丁目下車 徒歩3分
- [28番] 金田又は金田1丁目新小倉病院前で下車 徒歩3分
- [138番] 北方方面から(都市高速)ソレイユホール・ムーブ前下車 徒歩4分

(JRご利用の場合)

- [小倉駅] タクシー利用の場合は8分、バスで12分
- [西小倉駅] タクシー利用の場合は5分、バスで6分
- [南小倉駅] タクシー利用の場合は5分、バスで15分

国家公務員共済組合連合会

新小倉病院

〒803-8505

北九州市小倉北区金田1丁目3番1号

TEL 093-571-1031 (代表)

FAX 093-591-0580 (地域医療連携室専用)

http://www.shin-kokura.gr.jp/